

ストーリー要約能力テストをテキスト vs マンガで比較した実験

竹内 俊彦

駿河台大学 / 教育テスト研究センター

筆者はストーリー・マンガを受験者に示し、要約に必要なコマを5%~20%程度、選んでいただき、集合知に近いほど高いという採点方法を研究してきたが、「マンガで要約が上手い人と文章の要約が上手い人の相関は高いのか」という検証をしていなかった。そこで2019年10月22日の実験で、60名の実験参加者に、あるマンガと、そのマンガの1コマごとに1段落の文章に直したものを示し、どちらも要約していただき、相関を調査した。

その結果、マンガ要約におけるコマの削減率と小説要約における段落の削減率の一致率は、平均で88.5%、最大で98.1%、最小は67.6%だった。108コマのマンガの要約だったので、平均12.3コマ/段落、マンガと小説で要約時に選択するかしないか、不一致があったことになる。つまり要約時に、マンガを与えるか小説を与えるかで無視できない差が生ずると結論した。ゆえに、マンガの要約テストの結果から小説の要約能力を類推するには注意を要する。ただし、どの程度コマ/段落を削減するかについては、あまりメディアの差はなかった。たとえば要約時にマンガで少数のコマに厳選する人は、小説を要約するときにも段落を厳選する傾向がある(相関係数0.659)ことがわかった。

キーワード：要約能力，マンガ，実験，メディア比較

謝辞

本研究は、科研費（基盤C「集合知によるマンガ要約テストの確立と、その評価基準を用いたマンガ要約ソフトの開発」 課題番号17K01142）の助成を得た。また実験にあたり、実験者の手配や会場の準備などに関して教育テスト研究センターの多大な助成を得た。さらにマンガの利用にあたり、芳文社コミックスの協力を得た。